



2012年4月入職

ほし の ゆ い
星 野 唯

思いやりエキスパート全員で、アクションを起こしたい

緊急時にも対応できるアジリティの高さが必要

患者さまとその周辺の状態は常に一定ではありません。容態が急変することもあるれば、治療中にメカトラブルが起こることもあります。緊急時には動きが硬直してしまいがちですが、事象の本質を理解していれば、その事態に応じた俊敏な対応ができます。その本質を見抜くためには、患者さまそれぞれの病態や生活背景を把握するのはもちろん、ご本人とコミュニケーションを深く取ることも重要です。浅いコミュニケーションでは言葉の真意、本質に辿り着けません。会話をあまり好まない方もいらっしゃいますが、込み入った話ができるチャンスは必ずあります。少しずつ打ち解け、距離を近づけていけば、心の奥に潜んでいる本当のニーズを見つけられるのです。

私が理想としているのは、緊急時にも俊敏に対応する、それでいてオーダーメイド型の治療です。お一人おひとりの本質的なニーズを把握した上で、どんなときにも対応できるアジリティの高い状態を維持し、精神面と技術面の両方で患者さまの支えになりたいと思っています。

今までになかった企画を立ち上げたい



これまでに何度か思いやりエキスパートの打診を受けていましたが、エキスパートを目指したところで自分のやるべきことは変わらないので、断っていました。しかし入職して8年が経ち、仕事に慣れたことで自分の中に甘えや油断が生じていたのも事実です。ここでいま一度初心に返ろうと思い、今回の研修を受けることを決めました。研修を受けたことは、私自身の成長につながったのはもちろん、善仁会グループが重んじている「思いやり行動」についての認識が改めて明確になったことで、新人育成を行う際の方向性も明確になりました。

これからは思いやりエキスパート全体でアクションを起こしたいと思っています。現在、善仁会グループの思いやりエキスパートスタッフは各エリアで活動していますが、全員が一丸となって実現できる取り組みもあると思うのです。まずは臨床工学技士だけでできる企画から始め、ゆくゆくは職種をまたいで、善仁会グループのさらなる発展につながる大規模な企画を立ち上げたいと考えています。具体的なビジョンはまだ定まっていませんが、企画のことを常に頭の片隅に置きながら、近い将来、それを実現させたいと考えています。



患者さまの気持ちに
寄り添う医療を
星野唯